

標十五句

松岡隆子選

坐りても歩きても六月の風
巻きいそぐものも交りて落し文
家を守ることもなかなか草を取る
鳥ごゑの潤むなかぞら梅雨兆す
父の日の然したる用もなく暮るる
遠雷や海に入りゆく濁り川
合歓咲くや橋の向かうの道暗く
境内に川がよく見え夏祓
新涼の上り框の高さかな
働いて老の日焼にこだはらず
この家の酒屋の昔凌霄花
道なりに水音風音生れて夏
喪の家のしんと紫陽花明かりかな
まくなぎを思へば出あふ日暮かな
水の香の闇やはらかき蛍狩

川上昌子
峰岸よし子
渡辺あつ子
染谷晴子
別府優
松原ふみ子
廣瀬ハツミ
中嶋孝子
佐藤郭子
鶴見静枝
中島紀子
田中敦子
早川紀子
田坂孝志
田幡栄子